

春休みの活用法（成長することを楽しもう！）

1年というのは、あっという間のもので生徒の皆さんも新学年を迎えますね。現在の学年では、充実した生活を送ることはできましたか？1年前の自分と今現在の自分では、身体はもちろんのこと、学力や精神面でも成長していることと思います。今回はその成長した学力を次の一年でより効率的に伸ばすために、春休みにすべきことをまとめました。ぜひ参考にしてください。

まずは目標を意識しよう

春休みに何をすればよいかの話の前に、まずは目標を意識しましょう。目標も無いまま漫然と何かをするよりも、目標を持って何かをする方が自分でも工夫・改善ができ、より目標達成に近づくことができますよね。

目標：自分の志望する学校に入学すること

中学生・高校生のみなさんにとっては、「自分の志望する学校に入学すること」が共通の目標といえます。でもこれでは、話が大きすぎるのでさらに小さな目標を立てましょう。

中学生の目標：学校の成績をよくする（内申を上げる）

高校受験では、推薦入試・都立一般入試等で良い成績であることが重要になってきます。だから、定期試験前に必死で勉強しているんですね。もちろん、受験レベルの問題を解けるようにすることも大切ですが、春休みでは受験レベルの問題を解く準備と内申を上げるための勉強をしましょう。

高校生の目標：内申を上げる または、受験問題に対応できる力をつける

高校生は、①学校推薦型選抜を狙っている人は内申を上げるまたは維持する、②公募推薦や一般受験を考えている人は受験問題に対応できる力をつけることが目標となります。

春休みにすべきこと

中学生のみなさんは、

具体的には次のことをすると良いです。春休みは夏ほど長くないので、内容を絞って確認するのがポイントです。気合いを入れていろいろと手を出し、消化不良にならないように気をつけましょう。

英語

単語と文法の復習をしましょう。
上の学年に進むと当たり前のよう
に既習済みの単語・文法が出てき
ます。単語は前学年の学習したも
のを自習で、文法は苦手・不安な
単元を春期講習で強化しよう！

数学

計算・方程式・関数を復習しよう。
新学期では前学年と同様にこの順
でその応用を学習していきます。
途中式の書き方、式の意味、式の
活用の仕方等、春期講習で改めて
確認して定着させておこう！

国語

漢字・読解・作文力を強化。漢字は前
学年の復習をし、読み・書き・それを
使った熟語等セットで覚えておこう。
それが読解力・作文力につながりま
す。読解は自学が難しいです。春期講
習で、ポイントをつかみ、ただ内容を
つかむのではなく、問題を解く力をつ
けよう！作文は一朝一夕でつくもの
ではないので、作文講座を始めよう！

理科・社会

重要語句の暗記と苦手単元の復習
をしておこう！都立一般入試で出
題される範囲は3年間で学習した
全範囲になります。すべてを一気
に覚えるのは苦しいですよ。春・夏・冬の長期休みを利用して
復習をし、受験にむけてわかる・
できる・覚えている単元を増やし
ておこう！

高校生のみなさんは、

①の人は、次の定期試験に向けレギュラーでとっている科目は予習、ただし予習をするのにその土台となるものが未定着な場合はその復習も必要となります。また、成績を上げなければならない科目も春期講習で修行しておきましょう。

②の人は 既習範囲の受験レベルの問題演習をすると良いです。受験レベルの問題を解いた後、できていない問題は分析です。勘違いなのか、うっかりミスなのか、知識不足・基礎内容の演習不足なのか等チェックし、その改善策を考え実行です。

「一日生きることは、一歩進んでいることでありたい」

ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹教授の言葉です。一日少しずつでも良いので、できるものを増やしていきましょう。そうすれば苦手なものでもいつの間にか得意に変わる時がきます。もともと得意だったものならば、さらに洗練されたものになっていくでしょう。そんな前向きな気持ちで新学期も頑張ってくださいね！